

官費の狂暴なる干渉も、新報を其の団体の幹部を自ら拘束し、一報
会費との提議もまた阻止され、充分に攻撃一行を遂行すること力なれなかつた
のは、甚だ遺憾であつた。斯くて攻撃一行もこの官費の狂暴に悩まされ、干渉に
し干支を蒙り、免運滞回するに至つた。

吾々は直ちに岡山に於ては、現説会を用き、官費司の正田干渉を先断放棄し、
大阪に於ては、全無産階級団体の名義の抗議書を内務大臣、警視總監、大蔵府知事
等に送つて、官費の狂暴なる態度を抗議した。

尚吾々亦敢て遺憾とするのは、舊僚の間に一行を迎へざるの余蘊なきに至つ
た爲め、各団体と充分なる關係すること出来なかつたことである。然る
に多岐様及団体が極度の在野の裡にあり、能く一行歓迎のため、奔走せ
られたことを深く感謝するものであつた。十月一日野田中安、安原長の名を以て
挨拶を求め、一行招待に對する吾等の所信を明かにする聲明書を發表した。

赴へて、ロシア金肩労働組合会議より本評議會に對して、加也、招待に同する
鄭重なる挨拶を兼ね、日露労働階級の友誼を深くするたため、全露金肩労働
組合大会に日本金肩労働者の公使を希望するものと云ふ意味の招待状に附した。
十月十四日、日露労働同盟委員会に對し、明瞭に其結果を報告し、他の干
渉上りや、干渉し得ない水、石の趣きを鄭重に述べ、行へて回答すること

した。
更に引き續いて、全露労働組合会議、長トムス、及び本評議會及他の諸団体
へ全露労働組合大会へ招待する旨の書面に附した。之また遺憾なかり、全露
不可成の旨を回答した。

教育方針

教育出版部

昨日本評會は同並に、介裂し、本日本評會組合評議會の創立を見るに
至つて、兩者の立場に對する理論的検討を主として、雜誌「マルクス主義」に
意見を述べ、無産階級に於て行はれた。

之等無産階級運動の方向及びその指導精神に關する、理論的討論は、本
く一紙労働者の主眼と爲つて、それには、更に発展して、本評會の
教育運動に對し、明確な指導的方針を、本評會の教育方針として、
本評議會の大会に於て採用された。本評會の教育方針として、
「無産階級教育の基礎を教育し、労働階級を、資本家階級の精神の
支配より救立てせしめ、階級意識に基く団体的訓練を與へる事は、組合運動の教